

毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です

✿子どもの読書活動を推進しましょう✿

「こどもの読書週間」が始まります！（4月23日～5月12日）



標語「出会えたね。とびきりの一冊に。」

2020子どもの読書週間のポスター

「子どもたちにもっと本を！」との願いから、1954年（昭和34年）に始まった「こども読書週間」。第1回は、日本書籍出版協会児童書部会が中心となって4月27日から5月10日まで開催しました。この年はポスターではなくしおりを作成し、東京都内の書店やデパートで配布したそうです。その後翌1960年の第2回より、読書推進運動協議会が主催団体となり、名称を「こどもの読書週間」とし、2000年の「子ども読書年」を機に、現在の4月23日～5月12日の約3週間に期間を延長しました。

本市では、毎月23日を「福岡市子どもと本の日」としています。平成13年12月に公布された「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、4月23日が「子ども読書の日」と定められたに基づいています。

また、国が4月23日を「子ども読書の日」としたのは、イギリスの文豪シェイクスピアとスペインの文豪セルバンテスの命日である日をユネスコが「世界図書・著作権デー」と宣言したことなどにちなんだものだとされています。

さらに、4月30日は図書館記念日です。昭和25年4月30日に、図書館は無料のサービスである、という当時としては画期的な理念の「図書館法」が公布されたことを記念して設けられました。

学校現場では、現在新型コロナウイルス感染症の対策として休校等の措置が取られていますが、登校してきた子どもたちが、とびきりの一冊に出会えるような取り組みを実施していただけたらと思っています。

☞「読書推進運動協議会」のHPアドレス：<http://www.dokusyo.or.jp>

「新1年生へのおすすめ本リスト」を配布しました！

教育委員会では、小学校・中学校に入学する子どもたちを対象に、「学校の先生たちが選んだおすすめ本リスト」を作成し、今年度で8回目になります。

おすすめ本は小学校や中学校の各教科の研究委員会や研究会に依頼し、推薦していただきました。

(右の図は小学生を対象とした今年のおすすめ本リストの表紙の画像です。)

学校では、学校図書館の特設展示コーナーでの紹介や新規購入本の参考にご活用ください。リストの内容は、下記のホームページからご覧ください。

なお、このページからは次のようなリストもご覧いただくことができます。こちらもぜひ、ご活用ください。



- 閲覧可能なリスト：
- ・図書館員のひみつの本棚（子どもの発達段階別に掲示）
 - ・図書館員の選んだおすすめ100冊
 - ・齋藤惇夫先生（児童文学作家）おすすめのリスト
 - ・松岡享子さん（東京子ども図書館名誉理事長）おすすめのリスト

おすすめ本の紹介サイト：アドレス：

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/shogaigakushu/ed/012.html>

4月生まれの文学者

✿「かいけつゾロリ」と原 ゆたか

(1958年4月28日 熊本県熊本市生まれ)

「かいけつゾロリ」は、いたずら王者を目指して修行を続けるきつねの「ゾロリ」とその弟子のイノシシ兄弟が、たくさんの人々（動物）と出会いながら困難を乗り越え、成長していく物語です。ゾロリは、いじわるやわるいことをたくらみかっこよく登場しては、いつも失敗します。しかし、どんな失敗しても、どんな逆境でも、くじけず、常に前向きなところが子どもたちに人気を博しています。この「かいけつゾロリ」シリーズの第1巻は、1987年の「かいけつゾロリのドラゴンたいじ」に始まり、現在64巻まで刊行されています。累計販売部数は、3500万部を超えています。原氏は、作品をつくるアイデアを得るために、さまざまな映画や本、テレビやゲーム、カプセルトイを子どもに混じって真剣になることの中からアイデアを得ているといいます。「ゾロリ」は、テレビアニメや劇場映画も公開されるなど子どもたちから大変人気の作品です。これからの「ゾロリ」の活躍がとても楽しみです。



図書館員のひみつの本棚 第168回

今月は出会いの時期にぴったりの絵本です。

『ウィリーとともだち』

アンソニー・ブラウン／さく あきの しょういちろう／やく 童話館出版

1996年 ¥1300 (税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★ 小高学年★★★ 中学生★★★

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

友達がおらず、誰にも仲間に入れてもらえないウィリー。ある日、公園を歩いていた時に偶然ヒューとぶつかってしまいます。そのことがきっかけで、見た目や得意なことが正反対の二人が、素敵な友情を育む物語。

ストーリーはとてもシンプルですが、絵がとてもユーモラスで、つい笑ってしまう絵本です。



<子どもに手渡す時のポイント>

読み聞かせにも向いている絵本です。シンプルなストーリーは、年齢に関係なく子どもの心に届きます。ユーモラスな絵が魅力の絵本なので、ぜひ絵をゆっくり見せながら読んであげてください。もちろん、自分で読んでも楽しめます。

私が読むと2分30秒でした。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。

ぜひ手にとってみてください。

☆ あとがき

新しい年度になりました。本年度も「福岡市 子どもと本の日」通信では、学校図書館の運営・活用に役立つ情報の提供、福岡市総合図書館や福岡アジア美術館などの読書活動の紹介などに努めてまいります。特に、学校図書館の運営・活用に役立つ情報の提供では、読書週間中の活動だけでなく、学校で日常的に取り組まれている読書活動などを紹介していきます。学校にも訪問しますので、どうぞよろしくお願ひします。

発行：福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639 FAX：092-852-0801